

納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンリーワン技術 メイドインジャパン 試作可小ロット 量産対応



業界における長年の課題を、電子回路の使用により解決へと導いた「スイングマスター」

世界初！
独自の測定原理で
業界を牽引

関西オートメーション 株式会社

起源の「ものづくり」で
実現させる
短納期とカスタムメイド



ダストモニターの測定値により、バグフィルターに用いる“ろ布”の交換時期も察知できる

例えば、セメントプラントの巨大サイロを想像してほしい。外から見えないセメントの量をどのように測定するのだろうか。そんな生産現場に欠くことができないもの。それが、関西オートメーションが手掛ける『レベルセンサ』だ。

同製品の活躍の場所は、セメント工場、石油プラント、ビール工場等、粉、粒、液業界と幅広い。自動測定により原料タンクから出荷までの全プロセスをオートメーション化することで、作業の効率化、円滑化に役買っている。

同社の起源は、数値制御を行うNC旋盤等で部品を製造する加工業。昭和40年代、顧客のニーズの高まりから徐々にレベルセンサメーカーとして頭角を現した。この起業以来培ったものづくり力で、各顧客の環境に合わせてセンサを一品様にカスタマイズ。自社工場での一貫生産により、短納期を可能にしている。「特に静電容量式レベルスイッチの納期の早さには、業界ナンバーワンと自負しています」と語る宮坂社長の言葉通りの迅速な対応に、顧客からもひと際厚い信頼を得ている。

粉体用レベルスイッチ
『スイングマスター』で
産業界のコスト削減に貢献

現在同社では、粉体用レベルスイッチ『スイングマスター』を特許出願中だ。モーターの羽を360度回転させる従来の回転式レベルスイッチとは一線を画した同製品は、世界初となる電子回路を活用した振り子方式を採用。スイング動作の停止時間を5.5秒にすることで消費電力25%カットを実現した。さらに内容物混入によるモーター部分の定期メンテナンスが不要だった従来品に比べ、遮断壁で粉末をシャットアウトさせることで耐久性を二気に向上させた。

近年、安価な海外商品が日本国内に浸透しつつある中、この開発は他の追随を許さない大きな成果といえよう。

次代のテーマは
「環境保護と安全」

同社のもう一つの柱と言えるのが、工場内から排出される煙のばいじん濃度を測定する環境測定器・ダストモニターだ。高度経済成長期に各地で起こったダイオキシン問題により開発、英国企業との業務提携を経て製造を開始した。現在、都市部の清掃工場や鉄鋼関係、自動車工場等多くの場所でも活用されている。

空気汚染を防ぐ等環境保護の一翼を担う同商品を始めた自社商品を通して、今後も広く社会貢献をめざす同社。「環境への取り組みだけでなく、レベルセンサ機能を活かし、例えばベルトコンベアの巻き込みから人身を守る安全制御対策にも取り組んでいきたい」と意欲的だ。各企業の社会的責任が問われる昨今、同社の存在は、業界外でもますます大きくなることだろう。

Company Profile

関西オートメーション株式会社

ISO 9001

大阪22

住 所 〒530-0056
大阪市北区兎我野町2-14
T E L 06-6312-2071
F A X 06-6314-0848
設 立 昭和44年10月
資本金 5,000万円
従業員 82名
代表取締役 宮坂 典央

■主な事業内容

レベル制御機器ならびに、ダストモニターの製造・販売

■主な取引先

製粉会社、自動車部品製造メーカー、設備会社 等

<http://www.kansai-automation.co.jp>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

産学連携で養う“開発エッセンス”で
次代の課題に取り組み、社会貢献を

代表取締役 宮坂 典央 さん



同社では、技術員を大学の研究室に派遣。基礎技術を身につけることで、“開発するエッセンス”を学んでいます。未来を担う人材育成に注力することで、「環境」と「安全」といった次代の課題に取り組む開発力を研ぎ澄ませ、社会に貢献できる企業へと成長していきたいと思っています。